

7

障害年金で受給できる金額はどのくらい？

障害厚生年金1級・2級なら2階建て

障害年金の受給額は、障害基礎年金の場合と障害厚生年金の場合とで変わります。

障害基礎年金は定額で、年額で1級が約97万円、2級が約78万円（平成29年度）。2級の障害年金は老齢基礎年金と同額で、1級は2級の障害基礎年金の1・25倍です。受給者に子ども（一定の要件あり）がいる場合は、さらに「**子の加算**」があります（148ページ）。金額は年度によって変わるので、筆者が相談者に説明する際は、「障害基礎年金2級なら月に6万5000円ほど（77万9300円÷12か月）、1級なら8万1000円ほど（97万4125円÷12か月）です」という言い方をしています（正確な金額は日本年金機構のホームページなどを参照）。

障害厚生年金1級または2級が受けられる場合は、

障害基礎年金との2階建てで支給されます。**障害厚生年金の場合は報酬比例**といって、収入が多いほど保険料も多く納め、もらう年金額も高くなる方式なので、受給額は人によって異なります。

また、障害基礎年金と同様に、障害厚生年金でも1級は2級の1・25倍の額となっています。さらに障害厚生年金1級・2級は、年齢が65歳未満で年収が850万円未満の配偶者がいる場合は、「配偶者加給年金」（平成29年度は22万4300円）の加算があります。3級には配偶者加給年金はなく、2階建てでの受給にもなりません（障害基礎年金に3級がないため）。報酬比例の年金だけが支給されますが、最低保障額が決められています。

障害手当金は、年金のようにずっと受給するものではなく、報酬比例の年金額の2倍が**一時金**としてまとめて支給されます（最低保障額あり）。

支給される障害年金の額（平成29年度）

障害の程度	支給される年金・手当金の額	
	障害厚生年金	障害基礎年金
1級障害	$\text{報酬比例の年金額} \times 1.25$ + 配偶者の加給年金額 (22万4,300円)	97万4,125円 + 子の加算額
2級障害	報酬比例の年金額 + 配偶者の加給年金額 (22万4,300円)	77万9,300円 + 子の加算額
3級障害	報酬比例の年金額 (58万4,500円に満たないときは、58万4,500円)	—
障害手当金	$\text{報酬比例の年金額} \times 2$ (116万9,000円に満たないときは、116万9,000円)	—

一時金として支給

Point!

- ・年金は、偶数月に前月分までの2か月分が支給されます。
- ・1級は2級の1.25倍の金額です。

「子の加算」がある場合

- ・18歳到達年度の末日までにある子がいる
- ・1級・2級の障害の状態にある20歳未満の子がいる

どちらかに
当てはまると加算

加算額 1人目、2人目の子：1人につき年額22万4,300円（月額1万8,691円）

3人目以後の子：1人につき年額7万4,800円（月額6,233円）

例 本人が障害基礎年金1級で、8歳と15歳の子がいる場合

$$974,125\text{円} + 224,300\text{円} \times 2 = 1,422,725\text{円} (118,560\text{円})$$

1級の支給額

子の加算(2人)

年額(月額)

障害厚生年金もある場合は、この金額にさらに加算

8

国民年金で受給？ 厚生年金保険で受給？

初診日に加入していた年金制度は？

前述のように、障害年金は国民年金の加入者として受給するのか、厚生年金保険の加入者として受給するのかで、もらえる金額に差があります。

障害年金の受給者の平均年金月額、厚生年金保険の1級で約16万円、2級で約12万7000円（厚生労働省「厚生年金保険・国民年金事業年報」平成26年度）。障害基礎年金の月額、1級が約8万1000円、2級が約6万5000円です。

国民年金と厚生年金のどちらの制度で障害年金を受給するかは、障害の原因となった病気や怪我で初めて医師の診療を受けた日（初診日）にどの年金制度の加入者だったかで決定します。

たとえば、国民年金に加入している学生時代に、のちに障害の原因となる病気や怪我で初めて受診し

た場合は、障害基礎年金のみを受給できます（自営業者などもそうです）。学校を卒業して就職し、会社員として勤めている時期（厚生年金の加入期間中）に初診日があった場合は障害厚生年金が受給でき、1級か2級に該当すれば障害基礎年金との2階建てになります。

また、③『初診日』って何？』では初診日や請求する傷病名が、自分で考えていたものとは異なる場合があると説明しました。たとえば、うつ病で障害年金を請求するときの初診日は、会社を退職した後、に精神科にかかった日だと思っていたところ、在職中に不眠の症状があつて受診した内科が初診日となるケース（相当因果関係あり）もあります。そうすると、初診日は仕事を辞めて国民年金の被保険者となっていたときではなく、在職中の厚生年金加入期間となったりするわけです。

障害年金のイメージ

		障害の程度			
		重い			軽い
		1級障害	2級障害	3級障害	
上乗せ年金 (2階)	障害厚生年金 (1級)	障害厚生年金 (2級)	障害厚生年金 (3級)	障害手当金	
	配偶者の 加給年金	配偶者の 加給年金			
基礎年金 (1階)	障害基礎年金 (1級) 月額約8万1,000円	障害基礎年金(2級) 月額約6万5,000円			
	子の加算(第1・2子) 各月額1万8,691円	子の加算(第1・2子) 各月額1万8,691円			

※子の加算は、第3子以降は各月額 6,233円

初診日に加入していた年金制度は？

